

令和4年度
文化庁日本語教育大会（WEB大会）

「日本語教育の参照枠」の活用のための手引、
「生活Can do」、
日本語能力自己評価ツール「にほんご チェック！」の説明



Japanese Language Education

令和5年3月
文化庁国語課

本日の内容

- (1) 「日本語教育の参照枠」の活用のための手引
- (2) 「生活Can do」
- (3) 日本語能力自己評価ツール「にほんご チェック！」

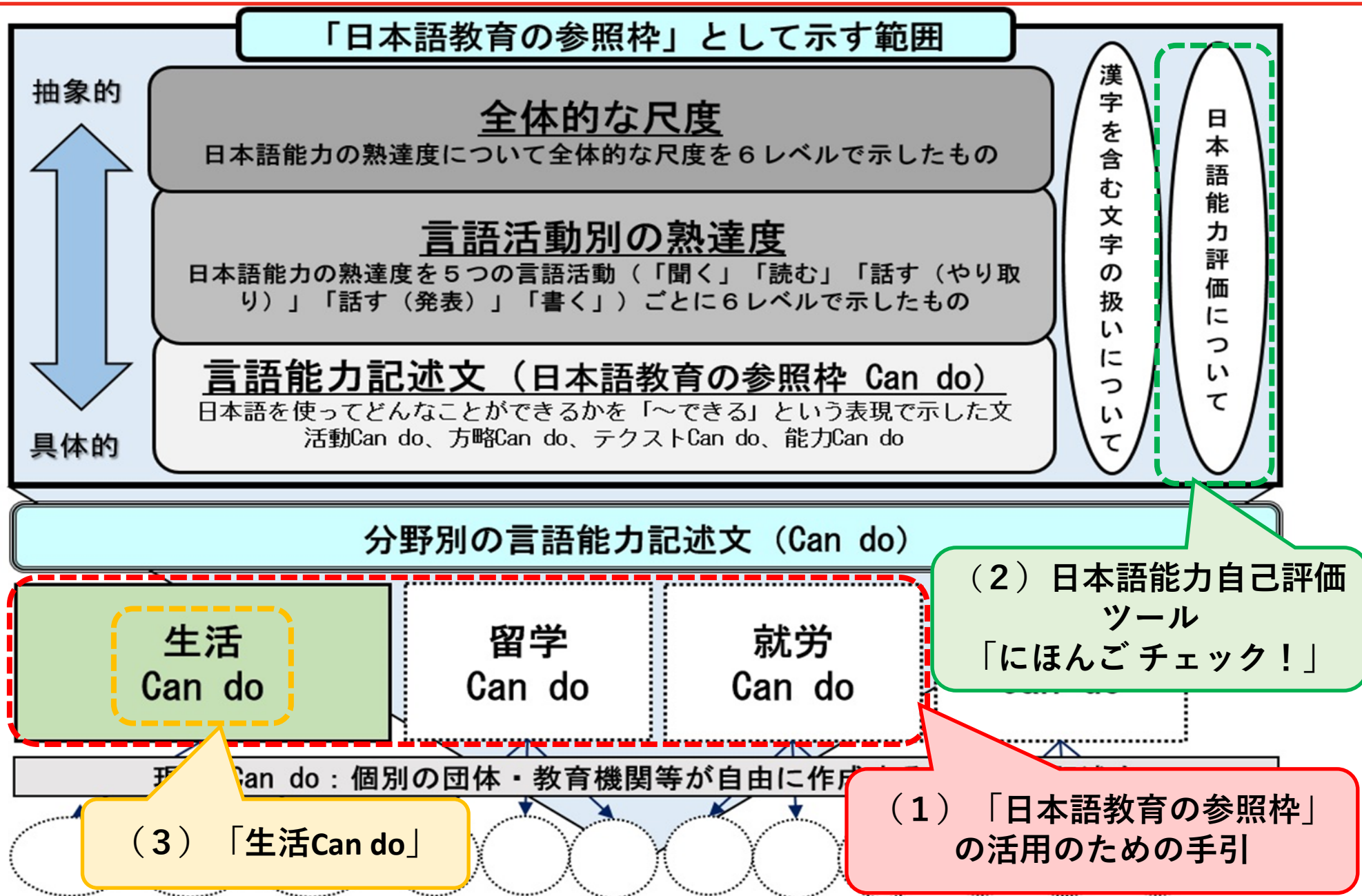
「日本語教育の参照枠」とは

CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)を参考に、日本語の習得段階に応じて求められる日本語教育の内容・方法を明らかにし、外国人等が適切な日本語教育を継続的に受けられるようにするため、日本語教育に関わる全ての者が参照できる日本語学習、教授、評価のための枠組み。

CEFRとは？

ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR: Common European Framework of Reference for Languages）は、欧州評議会によって20年以上にわたる研究と検証の末に開発され2001年に公開された。現在では40もの言語で翻訳されている。また、CEFR は言語資格を承認する根拠にもなるため、国境や言語の枠を越えて、教育や就労の流動性を促進することにも役立っている。

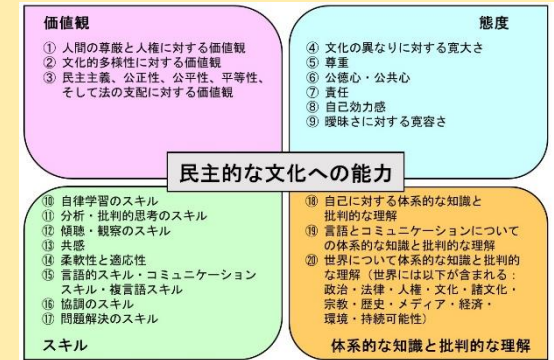
「日本語教育の参照枠」の構成



(1)「日本語教育の参照枠」の活用のための手引

第1章 「日本語教育の参照枠」とは？

1 2 のQ&A
4 つのコラム



第2章 Can doをベースにしたカリキュラム開発の方法

1. コースデザインを行う上で重要になる視点（考え方）
2. コースデザインの概説
3. バックワード・デザイン
4. シラバスへのCan doの組み込み方

第3章 Can doをベースにしたカリキュラムの事例

1. 生活：地域日本語教育における県の事例
2. 留学：法務省告示日本語教育機関の事例
3. 就労：定住外国人に対する就職支援事業実施機関の事例



文化庁ウェブサイトで全文公開しています。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93705001_01.pdf

第1章 「日本語教育の参照枠」とは？

12のQ&A

Q 1：なぜ「日本語教育の参照枠」が取りまとめられたのですか？

(p.1)

A 1：日本語学習者が国や地域、日本語教育機関を移動しても、学習を円滑に継続し、自律的に学習を進めていける環境を整備するため、取りまとめられました。

4つのコラム

コラム 1 子供に対する日本語教育

コラム 2 Competences for Democratic Culture（民主的な文化への能力）が示す能力と日本語教師に求められる資質・能力について

コラム 3 国内の英語教育における CEFR-J の取組

コラム 4 CEFR を参照している各国の事例

① 移民の第二言語教育と CEFR－ドイツ統合コースの事例

② 社会統合プログラムにおける韓国語教育

第2章 Can doをベースにしたカリキュラム開発の方法

Can do ベースのカリキュラム開発の方法

(p.30)

(4) シラバスへの Can do の組み込み方

Step 1. ① 学習目標の立て方

Can do リストから適切なレベル、言語活動などの Can do を選ぶ

- 1) コースの目標レベルを確認する
 - ・ そのコースで達成したいレベルは？
- 2) 各授業の学習目標を設定する
 - ・ できるようになりたい言語活動は？

Step 2. ② 学習目標とトピックや題材・学習項目との関連付け

Can do を達成するための語彙や表現などを選ぶ

- 語彙や表現、文型、社会言語的知識を学習項目として配列する

Step 3. ③ アセスメント（タスクや評価の用意）:

Can do を評価に用いる

- ロールプレイなどのパフォーマンス課題の設定 ⇒ **2.(3)へ**

* バックワード・デザインの場合は、Step2.②と Step3.③の順番を入れ替える。

(1)「日本語教育の参照枠」の活用のための手引

第3章 Can doをベースにしたカリキュラムの事例 1. 生活：地域日本語教育における県の事例

【自己評価の例】 [Lesson9] できましたか？



▶ できましたか？

ほしい もの、 したい こと について はなすことが できましたか。
hoshii mono shitai koto nitsuite hanasu koto ga dekimashitaka
欲しい 物 話す

- ▶ Did you talk about what you want and what you want to do?
- ▶ 能说明想要什么，想做什么了吗？
- ▶ Você conseguiu falar sobre o que você quer e o que você quer fazer?
- ▶ Bạn đã có thể nói về những điều bạn muốn làm và những vật mà bạn muốn sở hữu chưa ?



【日本語パートナー】できましたか？

①やさしい日本語で話したり、聞いたりしましたか。



②学習者のほうがたくさん話すように心がけましたか。



③ウォームアップをしてから、Lesson 9 の学習に入りましたか。



(1)「日本語教育の参照枠」の活用のための手引

第2章 Can doをベースにしたカリキュラム開発の方法

2. 留学：法務省告示日本語教育機関の事例

表5 異文化理解 自己評価 & ふりかえりシート

「日本語ポートフォリオ」
●学習管理・記録

目次

- ・言語パスポート
- ・学習管理・記録
- ・学習成果

学習管理・記録

- ・イヤブック
- ・年間開講予定
- ・私の進路
- ・科目ガイド
(Can do 含む)
- ・目標設定シート
- ・学習ふりかえりシートなど



異文化理解 自己評価 & ふりかえり Step_____ 氏名_____

今、以下のことがどのくらいできますか？自己評価してみましょう。

No.	レベル	項目 (Can-Do)	自己評価
1	step7,8	ステレオタイプに陥らず、自他の違いを個として見ることができる。	1・2・3・4・5
2		日常場面で、自他の行動の違いを比較し、相対化できる。	1・2・3・4・5
3	Step5,6	カルチャーショック、Wカーブなど異文化適応のメカニズムについて基本的な理解がある。	1・2・3・4・5
4		行動様式の違いがわかり、自分の行動・考え方の前提が検討できる。	1・2・3・4・5
5	Step3,4	異文化接 触 の事例を自分にひきつけて検討できる。	1・2・3・4・5
6		前提となる、ものの見方や考え方に注目できる。	1・2・3・4・5
7		物事を別の視点から見ることができる。	1・2・3・4・5

2. 発信表現（ディスカッション系）で学んだこと・身につけたことで、これからの生活や学習や仕事に生かせそうなことは何ですか？

発信表現で学んだことはいろいろあるけれど、その中に二つは大切なこと
があると思います。一番目は他者の意見に理解するになっ、て、いろいろな
日本語の使い方を学んだと思います。

ことだ



第2章 Can doをベースにしたカリキュラム開発の方法

3. 就労：定住外国人に対する就職支援事業実施機関の事例

■ポートフォリオ評価のヒントとなる活動事例

1) 自分のキャリア形成について考える活動

<活動概要>

- ・自分のやりがいや強み、したい仕事やできる仕事について考え、キャリアプランを作成する
- ※一連の活動を、母語や日本語を使ってテキストに書き込む形で記録できるようにするが、進度や記録内容は受講者次第

<ねらい>

- ・自分の過去から現在、そして将来の就労やキャリア形成に意識的になる
- ・キャリアプランニングと職場のコミュニケーション能力の自己評価とを並行して行うことで、受講者が就職に関わる日本語学習の目標を意識することにつながる

2) 教師と受講者の個別面談

<活動概要>

- ・コースの中盤と終盤に、日本語の学習状況、教室外での日本語使用や研修の成果などについて受講者と個別に面談を行う

<ねらい>

- ・受講者が自身の生活や就労場面における日本語使用をモニターしたり振り返ったりして教師に伝えることで、学習の成果を実感するきっかけになる
- ※現状、受講者自身に記録に残すことまでは求めている

(2)「生活Can do」について

生活Can do

「生活Can do」は、国内に在住する外国人(「生活者としての外国人」)が日常生活において、日本語で行うことが想定される言語活動を例示したもの。
「日本語教育の参照枠」に示された分野別の言語能力記述文(Can do)の一つ。

対象となる 範囲

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について(平成22年5月、文化審議会国語分科会)に示される「生活上の行為の事例」

生活上の行為の事例	I 健康・安全に暮らす	VI 働く
	II 住居を確保・維持する	VII 人とかかわる
	III 消費活動を行う	VIII 社会の一員となる
	IV 目的地に移動する	IX 自身を豊かにする
	V 子育て・教育を行う	X 情報を収集・発信する

レベル

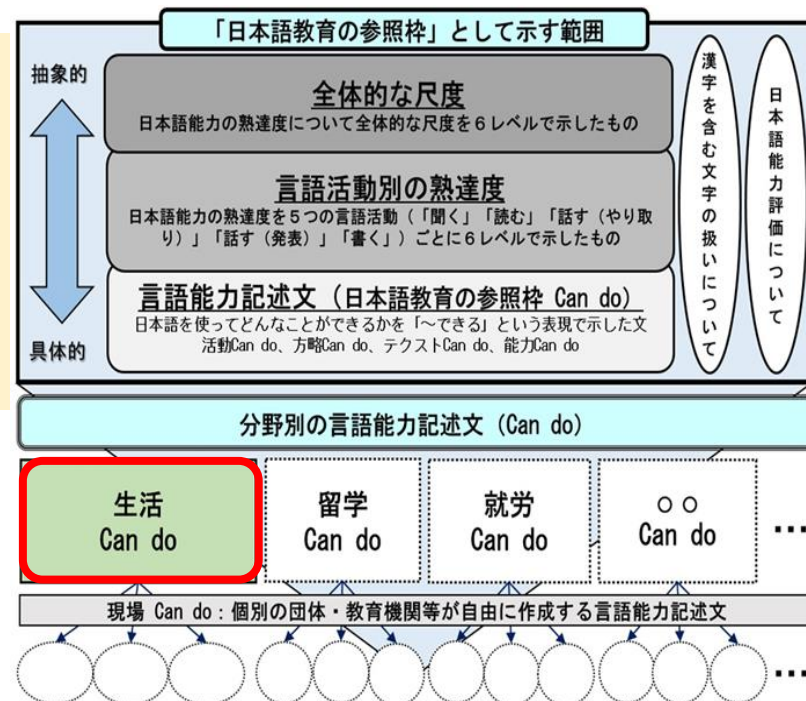
基礎段階の言語使用者(A1、A2)から自立した言語使用者(B1、一部B2)までを想定

言語活動

聞くこと、読むこと、やり取り、発表、書くこと

例

- <やり取り・A1> 店で買い物をするとき、買いたいものや個数を伝えることができる。【Ⅲ消費活動を行う】
- <読むこと・B1> 適切な医療機関を選ぶために、病院のサイトなどの、ある程度長い文章に目を通して、診療科目や診療内容など、必要な情報を探し出すために読むことができる。【Ⅰ健康・安全に暮らす】



(2) 「生活Can do」について

「生活Can do」、自己紹介についての言語活動例

Ⅷ社会の一員となる【発表:A1】

自治会や地域のイベントなどで、初めて会う人たちの前で自己紹介するとき、自分の名前、出身地などをごく簡単な言葉で言うことができる。

Ⅶ人と関わる【発表:A2】

初めて会った人の前で自己紹介するとき、自分や家族がどこに住んでいるか、何をしているかなど、短い簡単な言葉で話すことができる。(JF456)

Ⅷ社会の一員となる【やり取り:B1】

自治会の行事などで初めて会った人に話しかけ、住んでいるところや家族のことなど身近な話題について質問したり、質問にある程度詳しく答えたりして、会話を続けることができる。

Ⅶ人と関わる【やり取り:B2】

自治会などの集まりで簡単な自己紹介をした後で、日本での生活、就労、日本語学習など、様々な話題についての質問に、苦労話や抱負を交えて答えることができる。

(2)「生活Can do」について

① あくまでも例示である。

- * 具体的な提示に努めたものの、網羅的なものではない。
- * 適切な項目がない場合は、新たなCan doを作成してもよい。

② どのような項目を扱うかは、状況に応じた判断が必要である。

- * 日本語でできるようにならないければならない行為の一覧ではない。
- * 防災や医療等、安全や生命に関連する項目については多言語による情報提供が望ましい項目も含まれている。

③ 「生活 Can do」を活用した学びは、多様な学びの一部である。

- * 日本語学習はCan doで示した言語活動のみで進められるものではない。
- * 異文化に対する気付きなど、ポートフォリオを活用した振り返り活動を通して促進される学びもある。

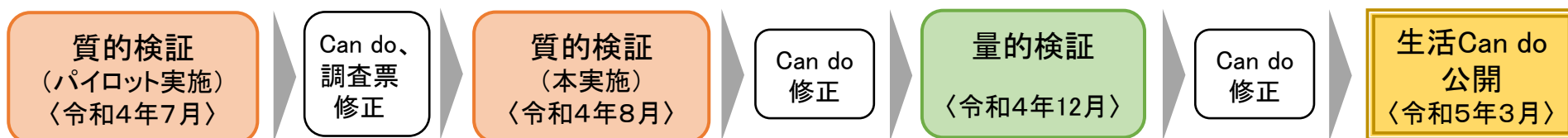
(2) 「生活Can do」について

検証の目的・流れ等

【検証の目的】

- ◆ 生活Can do(案)の各Can doについてレベル尺度の妥当性の精査のために検証(質的・量的検証)を実施します。
- ◆ 検証の結果を踏まえ、各Can doのレベルや表現等の修正を行います。

1 検証実施の流れ



2 検証の内容

質的検証(パイロット実施・本実施)

- 【対象】日本語教師(パイロット:20名、本実施:約100名)
【方法】Can doが示すレベルや表現の分かりにくさ等を
尋ねます。
【分析・修正】レベルの齟齬や表現が不明瞭な点等を洗
い出し、修正を行います。

【調査内容】

調査項目となっているCan do(合計100)について、主に
以下の点を回答いただきます。

- ① Can doのレベル
- ② ①のレベルの判断の根拠となった表現等

量的検証

- 【対象】日本語学習者(約800名)
【方法】
・質的検証結果に基づき修正を行ったCan doを提示。
・「日本語でできるか」を4段階で尋ねます。
【分析・修正】
・回答結果を統計的手法を用いて処理し、Can doのレ
ベル尺度の妥当性について検証を行います。
・結果に基づき、レベルの齟齬について修正を行います。

【調査内容】

調査項目となっているCan do(合計100)について、日
本語でできるかどうかを回答いただきます。



概要

国内外の日本語学習者を対象とし、ウェブ上のシステムで表示されるCan doがどの程度できるかを答えていくことで、日本語能力を簡易に判定し、その結果を日本語学習の目標設定に役立て、自律的な学習を促すことを目的とした自己評価ツール。

内容

「日本語教育の参照枠」の6レベル（A1～C2）、5言語活動（聞く、読む、話す（やり取り・発表）、書く）で、レベルごとに示されるCan doについて、日本語学習者が、「1. できない」、「2. あまりできない」、「3. 難しいがなんとかできる」、「4. できる」の四段階で回答していくことで日本語能力の自己評価を行う。

対応言語

日本語を含む全14言語に対応

中国語、英語、フィリピン語、インドネシア語、クメール語、韓国語、モンゴル語、ミャンマー語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、日本語（ルビ付き）

(2) 自己評価画面（例）

はなと話すこと（やり取り）

にほんご
日本語でできますか？

Can do	できる	難しいが、なんとかできる	あまりできない	できない
ときどき繰り返しや言い換えを求めることが許されるなら、自分に向けられた、身近な事柄について、はっきりとした、共通語での話はたいてい理解できる。	☒	☐	☐	☐
興味のある話題の日常的なことなら短い会話に参加できる。	☐	☒	☐	☐
何をしたいか、どこへ行くのかを話して、会う約束をすることができる。	☐	☐	☒	☐
日常品やサービスを求めたり、提供したりできる。	☒	☐	☐	☐
娯楽や過去の活動について質問をし、答えることができる。	☒	☐	☐	☐

(3) 判定結果画面（例）

はなと話すこと（やり取り）

あなたの力はA2です。

A2レベルでは、こんなことができます。



たんじゅん にちじょう しごと なか じょうほう ちよくせつ
単 純な日 常の仕事の中で、情 報の直 接のや
と ひつよう みぢか わだい かつどう
り取りが必 要ならば、身近な話題や活 動につい
はなしあ
て話 合いができる。
つうじょう かいわ つづ りかいりよく
通 常は会話を続けていくだけの理 解 力はないの
みじか しゃごうてき と
だが、短い社 交 的なやり取りをすることはでき
る。

(1) トップ画面

にほんごのうりふくじこひようが
日本語能力自己評価ツール

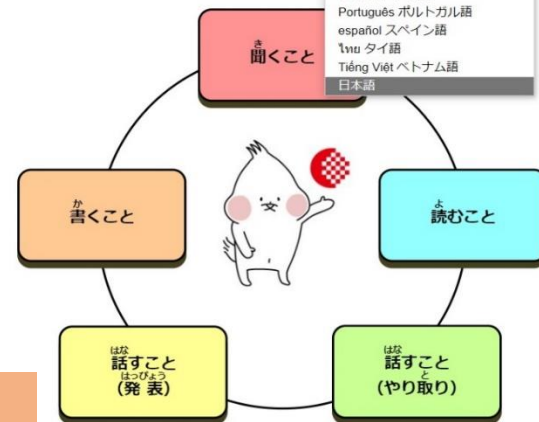
にほんご チェック！

いま、にほんご
今、日本語でどんなことができるかチェックしてみよう

チェック！する前に

LANGUAGE

日本語
▼
簡体字 中国語（繁体字）
English 英語
Filipino フィリピン語
Indonesia インドネシア語
ខ្មែរ ក្រមួរ 語
한국어 韓国語
Mongolian モンゴル語
မြန်မာစာ 米 語
नेपाली नेपाल 語
Portuguese ポルトガル語
español スペイン語
Tiếng Việt ベトナム語
日本語





トップページ

にほんごのうりよくじこひょうか
日本語能力自己評価ツール

にほんご チェック！

いま にほんご
今、日本語でどんなことができるかチェックしてみようまえ
チェック！する前に右上の言語選択より、
日本語を含む14言語
が選択できます。

LANGUAGE

日本語

简体字 中国語（簡体字）

English 英語

Filipino フィリピン語

Indonesia インドネシア語

ខ្មែរ ក្រមួល 語

한국어 韓国語

Монгол モンゴル語

မြန်မာစာ ၀ေ၀်၀်၀် မြန်မာ 語

नेपाली नेपाल語

Português ポルトガル語

español スペイン語

ไทย タイ語

Tiếng Việt ベトナム語

日本語

き
聞くことか
書くことよ
読むことはな
話すこと
はつびょう
(発表)はな
話すこと
(やり取り)「日本語教育の参照枠」
の五つの言語活動ごとに
日本語能力を自己評価し
ます。



チェック画面

にほんごのうりよくじこひょうか
日本語能力自己評価ツール

にほんご チェック！

LANGUAGE

日本語

提示されるCan do
について、四段階で
チェックを入れてい
きます。

はな はっぴょう
話すこと (発表)

にほんご
日本語でできますか？

回答が終わったら、
「チェック！」
ボタンを押します。

Can do	できる	むずか 難しいが、なん とかできる	あまりできない	できない
き て ようてん きおく あるいはあと おも た さい あし 聞き手が要点を記憶、あるいは後で思い出す際の足 がかりになるような、論理的な構造を持った、流れ のよい、構造のしっかりしたスピーチができる。	☒	☐	☐	☐
めいりょう とどこお くわ おお きおく のこ 明瞭で滞りなく、詳しく、多くは記憶に残るよう な経験談ができる。	☐	☐	☒	☐
わだい ちしき ちょうしゅう たい じしん も 話題について知識のない聴衆に対して、自信を持 ってはっきりと複雑な内容を口頭発表できる。	☐	☒	☐	☐
ちょうしゅう ひつようせい あ じゅうなん はなし こうそうか か 聴衆の必要性に合わせて柔軟に話を構造化し、変 えていくことができる。	☐	☐	☐	☒
むずか たいきい かん じつもん たいしよ 難しい、あるいは敵意すら感じられる質問に対処 することができる。	☐	☐	☐	☒



チェック！



結果画面

はな はっぴょう
話すこと (発表)

チェックしたCan doに
応じて、六つのレベルで
結果が表示されます。

ちから
あなたの力はC1です。



C1レベルでは、こんなことができます。

ふくざつ わだい はせいてきわだい た い ぐわ
複雑な話題を、派生的話題にも立ち入って詳しく
ろん いうてい かんてん てんかい
論ずることができ、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。

ほか かつどう
他の活動もチェック!しよう

き
聞くこと

よ
読むこと

はな
話すこと
(やり取り)

か
書くこと

げんごかつどう
チェック!した言語活動のまとめ

チェックした言語活動に
ついては「✓」が表示され、
下のボタン(赤点線)を
押すと、まとめのページ
に移動します。



結果画面（全体）

言語活動ごとのレベルが棒グラフで表示されます。

げんごかつどう チェック！した言語活動のまとめ

チェックした全てのCan doの結果が言語活動ごとに表示されます。

	A1	A2	B1	B2	C1	C2
き 聞くこと						
よ 読むこと						
はな と 話すこと（やり取り）						
はな はつびよう 話すこと（発表）						
か 書くこと						

き 聞くこと	B2
なが かいわ こうき りかい 長い会話や講義を理解することができる。また、もし話題がある ていどみちか はんし ぎろん なか ふくさつ りかい 程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。	
たいてい じじもんだい ばんぐみ わ 大抵のテレビのニュースや時事問題の番組も分かる。 きょうつうご えいが だいたすう りかい 共通語の映画なら、大多数は理解できる。	
よ 読むこと	C2
ちゅうしようにき こうそうてき げんごてき ふくさつ たと 抽象的で、構造的にも言語的にも複雑な、例えばマニュアル せんもんてききし ぶんがくさくひん ぶんしりょう じじつじょう けいしき や専門の記事、文学作品の文章など、事実上あらゆる形式で か ことば ようい よ 書かれた言葉を容易に読むことができる。	
はな と 話すこと（やり取り）	B2
りゅう しぜん かいわ じゅくたつ にほんごわしゃ 流ちょうに自然に会話をすることができ、熟達した日本語話者 ふつう と と普通にやり取りができる。	
みちか ぶんみやく はいけい ぎろん せつきよくてき さんか じぶん いげん	

き 聞くこと				
Can do	できる	むずが 難しいが、なんとかできる	あまりできない	できない
いみ がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。	✓			
どうにん む ていねい はな しじ 当人に向かって、丁寧にゆっくりと話された指示なら りかい みじか かんたん せつめい りかい 理解できる。短い簡単な説明なら理解できる。	✓			
Can do	できる	むずが 難しいが、なんとかできる	あまりできない	できない
もし、はっきりとゆっくりとした発音ならば、具体的な ひつようせい み かろう ていど りかい 必要性を満たすことが可能な程度に理解できる。	✓			
はつわ はつおん 発話がはっきりとゆっくりとした発音ならば、 も せいふく せいふく せいふく せいふく せいふく 最も重要な優先事項の領域（例：ごく基本的な ことば ことば ことば ことば ことば 使用上の注意事項、地理・仕事・	✓			
ぎろん で議論	✓			
されている話題はおおた分かる。				
みじか かんたん 短い、はっきりとした、簡単なメッセージやアナウン	✓			

言語活動ごとにできることが表示されます。

御清聴ありがとうございました。



Japanese Language Education

令和5年3月
文化庁国語課